福島県南相馬市立原町第二中学校　学校だより　第２号
発行日：令和２年５月12日　　発行者：校長 和田節子
TEL：(0244)22-4188　E-mail：haramachi2-j@fcs.ed.jp

からくさ

【教育目標】　自律　探究　協働
- ◆ 自ら考え、判断し、行動する
- ◆ 真理を求めて深く学び続ける
- ◆ 目的意識を持ち多様な人々と協力する

【重点目標】　自己を振り返り、学びをつなぐ生徒

感染症対策と学習保障の両立

緊急事態宣言が延長され、新型コロナウイルス感染症対策は新たな局面に入りました。注目すべきは、**「ウイルスとの共存」**という考え方です。国の懇談会提言では、「学校における感染リスクをゼロにするという前提に立つ限り、学校に子供が通うことは困難であり、このような状態が長期間続けば、子供の学びの保障や心身の健康などに関して深刻な問題が生じることとなる。」とされました。そこで示されたのが、社会全体が長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、その上で、**子供の学びを保障するために、学校における感染のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始していく**という考え方です。

本校では、文科省や市教委の方針を踏まえ、**「感染症対策」と「学習保障」**を両立させるために、今週と来週については次のような対応を行います。

１　密集を避けるために、学級ごとに登校する曜日を分けます。また、進学を控えた３年生については、登校日を増やします。
- 【12日（火）、19日（火）】１年１組、２年１組、３年１組、やすらぎ学級
- 【13日（水）、20日（水）】１年２組、２年２組、３年２組、やまなみ学級（２年）
- 【14日（木）、21日（木）】１年３組、３年３組、やまなみ学級（３年）
- 【22日（金）】３年生全学級、やまなみ学級（３年）

２　密閉を避けるために、風通しのよい各階のホールを臨時の教室とします。
３　密接を避けるために、机と机の間隔を１～２m離します。
４　学習を進めるために、「40分×７校時」の授業を実施します。
５　一人一人の学習をサポートするために、可能な限り複数体制で指導します。
６　家庭学習を充実させるために、「次週までにできるようにしたいこと」を課題一覧票に明記します。

なお、本日の学級活動において、専門家会議で示された**「新しい生活様式」**についての指導を行いました。生徒が自ら判断し、適切な行動をとることができるようにしていきたいと思いますので、裏面を参考にしていただき、ご協力をよろしくお願いします。